

平成28年度東大和市水防訓練報告

南街・桜ヶ丘地域防災協議会本部

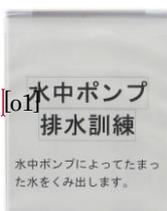
平成28年06月12日

6月12日に東大和市役所北側駐車場で北多摩西部消防署、東大和市消防団、東京消防庁災害支援ボランティア、及び市の防災安全課のご指導を戴き、市内自治会(当防災協議会からは第一光ヶ丘自治会)の会員が参加し標題訓練が実施されました。当日は尾崎市長他行政からも多くの参加があり、集中豪雨や台風等による災害に備え、更なる災害対応力の強化を図りました。

実施した訓練の内容

以下を実施しました。

- (1) 簡易水防工法訓練(市民参加)
- (2) 土嚢作成体験(市職員参加)
- (3) 水中ポンプ排水訓練



簡易水防工法訓練状況



本部テント



マンホール 噴出防止工法

ペニアや土のう等によりマンホールを囲い、噴出した雨水の水圧を利用し噴出を防止する工法



積み土のう 工法

堤防からの越水や地下街・地下室への浸水を防ぐ工法



簡易トイレtent



tent内部



尾崎市長／行政側及び議員団の視察



閉会式状況



水害への日頃の心がけ

- 自宅周辺の排水溝などを点検して詰まりがあったら取り除きましょう。
- 地下階への浸水に備えましょう。
 - ・仕切り板や土のうで浸水防止
 - ・半地下・地下駐車場の排水ポンプ設備を確認
- 避難場所と持ち出し品を確認しておきましょう。
 - ・避難場所や持ち出し品等を記載した防災マップを市役所防災安全課で配布しています。

天気の変化に備える

- 天気予報から
 - 雷注意報、大雨や洪水の警報・注意報が出ている時、天気予報で「大気の状態が不安定」、「天気の変化」などの表現がある時は注意しましょう。
- 空の状態から
 - 「急に真っ黒な雲が近づいてきた」、「雷鳴が聞こえる」、「稲光が見えた」などの場合は注意しましょう。
- 川の状態から
 - 「水かさが増えてきた」、「濁ってきた」、「流木や落ち葉が流れてきた」などの場合は注意しましょう。
- 気象情報等の入手
 - インターネットの各種気象サイトから、気象情報や東京都の水防総合情報システムの雨量及び河川の水位情報などを入手しましょう。

【お問合せ先】

東大和市総務部防災安全課災害・防犯係
 電 話 042-563-2111
 FAX 042-563-5931
 E-mail bousaianzen@city.higashiyamato.lg.jp

平成28年度東大和市水防訓練



1. 実施日時

平成28年6月12日（日）

- ・水防本部の設置・運営訓練（9:00～10:00）
- ・水防工法（10:00～11:00）

2. 実施場所 及び訓練内容

- ・水防本部設置運営訓練（市役所3階）
- ・水防工法訓練（北側砂利敷き駐車場）

3. 実施機関

東大和市、東大和市消防団、東京消防庁北多摩西部消防署、東京消防庁災害時支援ボランティア、市内自治会

水防訓練プログラム

- 1 水防本部の設置・運営訓練 (9:00~10:00)
(図上訓練・実動訓練)
※上記訓練の見学はできません。
- 2 水防工法 (10:00~11:00)
 - ・積み土のう工法
水防第1中隊
 - ・改良積み土のう工法
水防第2中隊
 - ・マンホール噴出防止工法
水防第3中隊
 - ・水中ポンプ排水訓練
水防第4中隊
 - ・都市型簡易水防工法
参加市民・自治会※上記各訓練の見学は可能です。
- 3 検閲 (11:05)
- 4 講評・挨拶・来賓紹介 (11:15)
- 5 訓練終了・資器材撤収開始 (11:30)

水防工法の紹介

□ 積み土のう工法

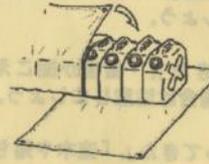
水防工法の基本といえる工法で、増えてくる水かさに合わせて、土のうを積み上げます。さらに、土のうが落ちたり流されないようにパイル（鉄製の杭）を打ち込みます。堤防からの越水や地下街や地下室への浸水を防ぐことができます。

□ マンホール噴出防止工法

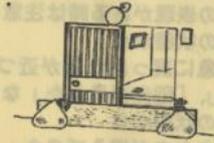
噴出しているマンホールの周囲に、ベニアや土のう等により囲い、雨水の水圧を利用して噴出を防止する工法です。

□ 都市型簡易水防工法（代表的な活用例）

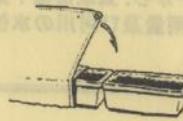
身近なものを活用することによって、家庭でも早いうちに浸水被害を減らすことができます。



ボリタンクとレジャーシート



止水板



プランターとレジャーシート



簡易水のうをマンホールに入れた後レジャーシートで覆う。

(画像等：東京消防庁ホームページより)

以上